

# Nコン2019 高等学校の部 課題曲

「僕が僕を見ている」(女声三部合唱)

演奏のポイントについて 参考演奏指揮:金田 典子さん(指揮者)

Q 女声合唱のポイントは?

金田: 女声のやわらかさ、あたたかさ、そういうようなものが歌に出るといいなあと思ひまして、言葉のひとつひとつの扱い方に注目をして練習をしてみました。

Q 冒頭のアカペラ部分はどう表現した?

金田: ここ(冒頭)のところでハッとするような、「眠っているのかな いや死んでいるんだ」っていう言葉が出てくるんですけども、そのところの表情が「眠っているのかな」っていうところは少しく温度がある感じ。「死んでいるのかな?」っていうときには深刻な、というか神妙な感じで歌ってみたんですけども、このところに関しては(それぞれの)感じ方でいろんな歌い方ができると思うので、いろいろ試してみただけたらと思います。

Q Rapの部分はどのよう取り組んだらよい?

金田: Rapというところ、どうしたらいいかまず悩むところだと思うんですけども、私たちなんかよりは、歌う生徒さんたちのほうがよりRapになじんでいると思うので、みなさんのRapの楽しみ方で、(参考演奏の練習のときも)まずは音程をつけないで練習したりしました。いろんな人の言い方をみんなで聞いてみたりして、それで今度は音をつけていくっていうような練習をしました。(参考演奏を)仕上げていくときには音程をつけない、シャウトの歌い方をする人を何人が混ぜて今回は演奏してみているんですけども、そういう、いろいろな試し方ができると思います。

Q 最初に音程をつけないでRapの部分を練習した狙いとは?

金田: どうしても音程がつくと、「歌う」っていうふうになってしまうんですけど、「歌う」っていうよりもRapのところはやはりおしゃべりをして、しゃべっている場面によりなりたいなというふうに思ったので、音程をつけないで、とにかく生き生きと勢いのある感じでしゃべって、みんなで練習してみました。

Q エンディングに向けて注意すべきポイントは?

金田: やはり最後に向かうにつれて、こう、少しく息が足りなくなっていくたりとか、エネルギーも落ち込みやすいと思うんですけども、練習の段階では後ろから練習するとか(もいいと思います)。そうすると前から練習していったときに後ろにきたときに身体が慣れていくっていうこともあるんですね。

それから今回、とてもポイントだったのは、Rapのところとそのあとにくる、「僕が僕を見ている」という、これは全員で歌うところになりますが、そのところの勢いがとっても大事だったように思います。テンポ感ですとか、それから前に進む力、そのところで遅くならないように。

さらに今度はもう一回、「僕が僕を見ている」っていうのが二回あるんですけど、その二回目のときにまたちょっとゆったりしたくなっちゃうんですね。この部分のメロディーがとってもいいメロディーなので、どちらかというゆったり歌い上げてしまいたくなるようなところなんですけれども、そこでテンポが落ちないように、前に前に進むように歌って練習をしていきました。

そうするとRapとのかねあいとか曲の全体のまとまりにうまくつながっていくようでしたので、そのテンポの速さ、(気を付けたほうがいい)ですね。(テンポの)設定などを確認しながら練習を進めていくと最後まで(うまく演奏をもって)いけると思います。

Q 歌詞のないInterludeの歌い方のポイントは？

金田: そのところ (Interludeの部分) は、この前の部分から「新しい朝が来る」というところに向かって、どんどん場面が展開していくところ、それから思いがめぐっていくところですので、そのところも歌うみなさんでどんな風な、ここは(どんな)場面を描きながら歌おうかということをみなさんで話し合いながら音を作っていけるといいかなと思います。

#### 高校生へのメッセージ

とっても素晴らしい曲ができたと思うんですけど、まずお話、このストーリーが最初びっくりするようなところから始まって、そこから未来に向かっていくというストーリーで詞が書かれていました。

そこに今度は曲ができあがってきましたけれども、曲になると今度は映像が見えていくような、そんな音の、どんどん次々と新しい音楽が、そこに生まれていくような音楽があると思いました。

さらにコーラスになって、今度は歌うときにはその世界がさらに広がって、合唱で映画のような、そんなような映像がみえてくる曲が今回できあがったように思います。

みなさん、映像が浮かぶような感じ、それから思い描くような感じで歌われると、この曲のますます魅力が発揮できると思います。